

「世界遺産登録推進のための意見交換会」玉縄・大船地区開催

推進協議会では意見交換実行委員会（荒井章委員長）を発足させ、世界遺産登録推進を地域に根差した活動とするため、地元の文化財を守り伝えている各地域の自治会や町内会の方々との懇談会を開くこととしました。それは世界遺産候補地以外にも貴重な文化財が地域の共有財産として伝えられていますので、「祭」のように地域ぐるみで伝統文化を守り、運営されている地元の方々の文化遺産を守る努力は、鎌倉の世界遺産登録とその後の世界遺産を守りながら鎌倉らしい町作りを進めていくのに不可欠と思われるからです。

第1回として、平成21年11月25日、鎌倉市役所で、推進協議会と大船・玉縄地区の自治会・町内会との意見交換会が開かれ、30名を越す出席者が「あなたの足元の文化財を守り伝えていくために」というテーマで活発な意見を交わしました。

まず、内海恒雄広報部会長は、推進協議会の活動について説明し、鎌倉時代の古都鎌倉は全市域を超えており、世界遺産登録推進活動に全市民の共通の課題として取り組むため、地域の文化財継承の様子を伺いたいと話しました。

次に、鎌倉市自治町内会総連合会会長の田中八郎さん、鎌倉ロジュマン自治会会長の石井英明さん、大船自治町内会連合会会長の岩佐勝司さんから現状報告が行われました。玉縄祭や首塚まつり、ロジュマンまつりなど年間19件の祭が続いており、「地域の絆・玉縄の底力」になっているとのことでした。

参加者の意見交換では「世界遺産に対する地元の関

心は薄い」「大船地区の町づくりがどうなるか」「オール鎌倉の動きになっていない。全体で運動を支えるものにしないでは意味がない」など現状の問題点も指摘されました。その一方では「鎌倉には泊まれるホテルがないので、大船に大きな宿泊施設を作って旧鎌倉と連動させたらどうか」など鎌倉全体の役割分担を前提とした積極的な開発計画も出ました。

「大船は成田エクスプレスの終点。江の島にもモノレールで行ける。旧鎌倉、江の島、大船を含めたパッケージ構想で外国人観光客の足をとめさせることも大切」といった提案は、国際観光都市として自覚し、街をあげてのインフラづくりにもつながるものです。さらに世界遺産の精神にもつながる周辺地区の役割を見据えた様々な構想も紹介されました。その一つは「玉縄地区での老女の昔話を聞きましょう」との呼びかけです。いずれも次世代に誇りを持って残していける町づくりの基礎になるはずです。

「大船の町づくりをどのように進めていくのかが私の役割」（岩佐さん）、「祭に示された地域の力を盛り上げて鎌倉の発展のために役立てたい」（石井さん）との思いも表明されました。会場からは「世界遺産はゴールではなく、スタートである。鎌倉をすばらしい町にするきっかけとして世界遺産を考えていきたい」との熱いエールが寄せられました。

意見交換事業実行委員会は協議会の一組織として2009年に創設されたもので、大船・玉縄地区をスタートに鎌倉市内の他地区とも意見交換を続けていくことになっています。

《玉縄城築城500年祭 実行委員会》発会式と記念講演会

平成21年11月22日、玉縄城跡にある清泉女学院中学高等学校講堂で、《玉縄城築城500年祭 実行委員会》の発会式と記念講演会が開かれ、推進協議会も共催参加しました。

当日は松尾崇鎌倉市長もかけつけ祝辞を述べられました。基調講演として、県立歴史博物館専門学芸員の鳥居和郎さんが、「後北条一族の戦さと暮らし」を講演された後、NPO 法人鎌倉考古学研究所監事 伊藤一美さんの司会でシンポジウム「武家の古都鎌倉に後北条が遺したもの」が開催されました。パネリストは鳥居さんと小田原市教育委員会学芸員の山口博さん、青山学院大学講師の真鍋淳哉さんです。

鳥居さんは「ただけしい野蛮な英雄で下剋上の人物」というイメージが強い後北条一族だが、実はそのイメージと反対の人物像が資料から浮かんできたと強

調しました。室町幕府につながる優雅な文化人とも言っています。後北条五代の基礎を築いた北条早雲が緻密な構想で玉縄城を築城したいきさつを語りました。三浦氏一族の牽制など相模支配の拠点としたとの説です。

また玉縄城の文化的側面として小田原の連歌会が玉縄北条家でも学習されたという歌道の伝統も強調されました。和歌と一緒に身につける蹴鞠や出陣にあたっての作法として絵画も伝えられているとのことでした。シンポジウムでは玉縄城について房総までの海の安全を守る水軍との重要なかわりがあったこと、各地に転戦する玉縄北条氏の重要な軍事拠点だったことなどの特色が明らかにされました。



記念講演会で挨拶する松尾新市長



Event! the 世界遺産

観光振興シンポジウム

鎌倉の魅力再発見 ～世界遺産登録をめざして～

プログラム 講 演：「鎌倉の魅力」 ピーター・ミラーさん（銅版画家）

中国琵琶演奏：陳麗華さん（琵琶演奏家）

パネルディスカッション：「鎌倉のもつ魅力と課題」

コーディネーター……久能 靖さん（ニュースキャスター）

パネリスト……アナン・ビー・メタさん（会社経営）、ウィルソン・ヘザーさん（明治学院大学講師）、
グエン・ゾン・ミンさん（大学院生）、佐藤ステファニア・バルディさん（通訳）

と き 平成22年2月27日(土) 午後2時～4時30分 **と ころ** 妙本寺 本部

主 催 鎌倉市観光振興推進本部 **共 催** 鎌倉世界遺産登録推進協議会 **企画・立案** (社)鎌倉市観光協会

申込期間 1月15日(金)～2月15日(月) **定 員** 先着200名 **参加料** 無料

申込方法 住所、氏名(ふりがな)、電話番号、FAX番号、「観光振興シンポジウム申込」と記載の上、FAXまたは電話にて下記まで

申 込 先 (社)鎌倉市観光協会 電話：0467-23-3050 FAX：0467-22-3516

第52回鎌倉まつり

「鎌倉の世界遺産登録をめざして」

今回もメインテーマは「鎌倉の世界遺産登録をめざして」です。今年も若宮大路のパレードに当推進協議会が参加します。また、毎年大変ご好評いただいている世界遺産候補地の特別拝観や、鎌倉の世界遺産についての講演会を行います。たくさんの市民の皆様のご参加をお待ちしています。

鎌倉まつり期間 平成22年4月11日(日)～4月18日(日) 午後1時～4時10分 **主 催** (社)鎌倉市観光協会

プログラム

① 11日(日) ……若宮大路パレード

② 12日(月)～16日(金) ……世界遺産候補地の寺社特別拝観めぐり

昨年度は建長寺西来庵・円覚寺舍利殿・寿福寺仏殿・浄光明寺覚賢和尚墓・極楽寺本堂・一升榊遺跡などを特別拝観しました。今年も同規模の特別拝観を寺社にお願いして実施する予定です。

③ 17日(土) ……<もっと知ろう！世界遺産> 講演会「中世都市鎌倉の面影を求めて」

講師：高橋慎一郎 東京大学史料編纂所准教授

中世都市の面影を残す鎌倉の魅力を、史学の視点からお話しいたします。

◎当日は平成21年度「世界遺産登録に向けての中学生作文コンクール」受賞者の朗読や、高校生による研究成果の発表も行う予定です。

EDITOR'S NOTE

広報部会長 内海恒雄

世界遺産登録も行政が進めるだけでなく、私たち市民が世界遺産登録を契機に、鎌倉のすぐれた文化資産を積極的に周辺のまちづくりに生かしたり、それを後世に守り伝えていく活動を活発に行っていくよう頑張りたいものです。

これらの課題にこたえるように「どう守る 私たちの世界遺産」というワークショップや「北鎌倉のまちなみ」ツアーと「北鎌倉の文化資産と周辺のまちづくり」というシンポジウムも開かれました。

鎌倉の世界遺産登録も文化庁に推薦要請が行われ、早期登録実現への着実な歩みが見られます。これからはユネスコ世界遺産委員会へ「推薦書」を提出するため、国と四県市が協働して作業を進めるわけですが、二度の国際会議では課題とされた「武家文化の分かりやすい説明」や「山稜部の積極的評価」などと共に、遺産保護についての市民の役割も強調されました。

編集後記

編集委員／大竹正芳 菊池威雄 後藤辰郎 佐藤江里子 高木規矩郎 都筑健一 能登原秀実 福澤健次 横岩宏志
デザイン／立山長恵

鎌倉世界遺産登録推進協議会 ホームページ、只今更新中！

<http://www.shonan-it.org/KWH-kyogikai/>

古都鎌倉の世界遺産登録についての最新情報や、会報バックナンバー、世界遺産MAPなど、楽しい情報を満載しています。ぜひ、クリックしてみてくださいネ！

●事務局

〒248-8686 鎌倉市御成町18-10

鎌倉市世界遺産登録推進担当

Tel. 0467-61-3848

Fax. 0467-23-1085

E-mail: sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp